

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270201801		
法人名	有限会社 RAIMU		
事業所名	グループホーム来夢		
所在地	〒858-0923 長崎県佐世保市日野町732		
自己評価作成日	平成22年1月28日	評価結果市町村受理日	平成22年3月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.jp/
----------	---------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7212 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成22年2月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様、スタッフ共に楽しみながら日常的な仕事(洗濯物干し、たたみ、掃除、木・日の食事の準備等。健康管理 早め早めの対応を行う)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は新旧の住宅地の一角に位置している。施設長は優れたリーダーシップの持主で地域の福祉活動には積極的に取組んでおり、又、地区の敬老会等にも参加し情報提供を行うなど信頼関係を築き地域に根ざしたホームとしての地位を確立している。職員への教育にも熱心に取り組み、働きやすい職場作りで入居者と職員との信頼関係も良好である。入居者の「安心、明るく楽しい生活」を理念に日常生活を過ごせるような早め早めの支援活動を心がけており訪問時も和やかな雰囲気を感じられた。また、アニマルセラピーも実施されており犬を取り囲んで明るい笑い声に囲まれた家庭的なホームである。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有、実践につなげるよう日々努力を重ねている	『安全安心明るく過ごす』を理念として管理者と職員が一丸となり、入居者の表情や小さな変化を見逃さない様に気がける介護を行い、共有を図っている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員と自覚して頂く為に回覧板や市政だより等目と通してもらっている	事業所は古くからの住宅地に位置し隣接の介護事業所と共に町内の運営にも積極的に参加している。施設長も地域の敬老会に顔を出し情報提供を行っており信頼関係を構築している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	電話での相談や入所申し込みの為に来所時等にお話を伺ったり、アドバイス等を行う		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の行事等を襲えていただき、出来るだけの参加を心がけている	運営推進会議は八月に開催のみで今年度は回数が少なかった。代わりに地域行事であるお祭りや清掃活動など家族や地域住民と協力しながら参加しコミュニケーションを充実させると共にサービス向上に活かしている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設長が積極的に取り組んでいる	施設長自ら長寿社会課主催の会議、介護支援専門員等の会議に積極的に出席し、事業所の活動案内等を行うとともに良好な関係作りを行っている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠、身体拘束は無いが言葉での拘束はどうしても言わざるを得ない時多々ある	施錠、身体拘束は行っていないが「立たないで」「～しては駄目」等の言葉が咄嗟に出してしまう場合もある。職員同士お互いに話し合い反省し認識のもとケアを行っている。	言葉による拘束について認識されており、より一層の改善に向けた取り組みを期待したい。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	個々が自発的に研修等に参加している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全体的の中での研修を行ったり、個々での勉強を行っている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書類や案内等を郵送したり、来所された際お話をさせていただいている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の要望や意見はご意見箱を用意し玄関先に設置している	事業所入口には家族へのアンケート用紙を準備しているが、なかなか意見が頂けないのが現状である。電話で一ヶ月に一度は家族に連絡し意見を求めており、家族の方からも衣類交換に来所された時など随時に連絡を頂き、運営に活かしている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	気づきや意見はその都度、各スタッフが出し、より良いケアにつなげていけるよう努力している	職員皆の意見の言いやすい雰囲気作りに取り組み、各々の気づきなどをスタッフ同士でその都度話し合っている。又毎月一度はケースカンファレンスで意見提案などの機会を設けている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	さまざまな機会を作りストレスケアに努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各人が機会ある事に自ら研修に参加している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設の方を勉強会に招いたりして交流している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	「よりそう」ことをモットーにご本人の思いを知る事を理念としている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご面会等を通じてさまざまな事について、きさくに語り合う事からスタートし、信頼作りから始めるように心がけている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅事業所との連携を図りながらおこなっている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の下ごしらえや洗濯物を干したり、たたんだり草取り等、その方の能力にあった事柄を手伝っていただいている		
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月々の状況報告を行い、ご本人の要望等をお伝えしたり、ご家族様のご意向をお尋ねしたり、お互いのコミュニケーションを図り、支えあっている		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同郷のスタッフを担当者にしたり方言を教えていただいたり、大勢の親類の方々が一度に面会に来られている	入居者本人、家族より希望を聞きとり支援している。本人の故郷、大切にしている事等、聞き取った情報は職員間で共有し同郷の看護師に話し相手になってもらう等出来る範囲で支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	アニマルセラピーにより皆さの笑顔や会話が 増え居室に閉じこもる方もいらっしやらない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援に努めている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	機会あるごとに言葉のキャッチボールを行いご本人の希望、意向を知る努力をしている	入居者本人が言葉でうまく表現できない場合もあり顔の変化や動き等を見逃さず積極的に働きかけ本人の意向把握に努めている。若い職員はベテラン職員に相談し上手な言葉掛けを行い本人の意向尊重に努力している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様、お友達等様々な角度からの情報をいただけるよう努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェック、排泄状況、食事摂取量、表情や話し方等、日頃の変化を素早くチェック出来るよう心がけている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	まずは、ご本人の意向をお尋ねし、それに沿ったプランは何かをスタッフと話し合い、ご家族のご意見も取り入れながらご本人中心のプランを立てている	理念である『明るく楽しく一生懸命生きて戴く』を基本に入居者本人と十分な話し合いを行ないプランを作成している。介護計画作成時はご家族にも参加いただき希望をお聞きしている。来所が難しいご家族には、その都度電話連絡などにより意向を伺っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプラン実行表、日誌に気づきを記入。個別記録にも記入する		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	集約的、事務的にならなよう努めニーズに即した支援を心がけている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練時や行事等にご近所の方々、又ボランティアの方々に協力いただいている		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療関連との連携は密に行われている。1回/2週の往診があり、他科の受診時は家族に協力を頂く時もあるが職員で対応している。報告の必要時は家族様へ連絡を行う	入居者本人と家族の希望を第一に、かかりつけ医には基本的に家族の協力を得て通院されている。同行が必要な時は職員も支援している。緊急時や夜間等は事業所提携医による月二回の往診や協力医により対応している	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤である為日々の申し送り、急変時の連絡、対応密に行う事が出来ている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	スタッフ全員で時間の許す限り面会を行いその都度、情報交換や関係づくりに努めている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホスピスケアについてご家族様からお尋ねがあった場合のみ選択肢の一つにして頂いてよい事をお伝えするのみにとどまっている	四月より医療連携加算を計画しており現在調整中でこれによりホスピスケアに取り組む体制作りを現在準備中である。	医療連携加算の計画を機にホスピスケアについて本人や家族と充分話し合い共有する事を期待したい。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会等への自主参加、施設内での勉強会等行っている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練、年2回実施。地域の方を消防署の協力を頂いている。地震・水害についても避難場所や方法を教授いただいている。災害時に必要な物は常に準備	消防署主導の下、五月、十月の年二回地域消防団の協力を得ると共に近隣住民へも協力の案内を行い避難訓練を実施している。又、隣接の他事業所とも協力体制を作っている。備蓄も必要分は完備している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人を大切に言葉や声かけには注意を払っている	プライバシーの保護に対する職員意識は日常業務を通じ、お互いに確認がなされている。プライドの高い人等その方にあった言葉掛けを気にかけて行っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の思いや意向を大切にしその方より良いケアを基に支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	パーソンセンタードケアを考えその方の思いを理解し、ケアを行う。常に振り返りが必要と考える		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度の美容師さんの来所を楽しみにされており、他店への希望があればご家族に協力をお願いしている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昔の得意料理や好み、味つけ等を伺ったり、料理の下ごしらえ等をやっていただいたりしている	調理時はそれぞれの得意分野の手伝い(下ごしらえ、下膳等)を能力に応じ担当されている。入居者と職員と一緒に季節に取れる野菜や果物を使った料理作りをしたりと楽しみながら食事をされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事、水分の摂取量のチェック、体重の増減等のチェックをこまめに行う		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけや介助にて口腔、義歯洗浄、食欲低下の有無、義歯の状態等の観察を怠らないよう心がけている。月2回、歯科衛生士の来所		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべくおむつはしないよう、ご本人と共に努力している	最高齢の方が転倒骨折され、しばらくオムツ対応となったが日中トイレ誘導と本人の力で夜間のみオムツとなり、その後ポータブルトイレを活用し、オムツが不要となった。現在オムツ使用は二名で自立に向け支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の多い物を中心にメニューが組まれている。運動・歩行訓練を取り入れ、それでも困難な方には緩下剤の併用		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日のバイタルやご本人の気分等によって入浴をしていただいている	入居者のその日の希望を聞き主に昼13時30分から3時位の時間帯で対応している。入浴拒否の方には入浴を促す様な声掛けを行っている。又、併設のデイサービスでの入浴希望もあり、交流も行われている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆さん自由に居室へ戻って休息されたり、夜間眠れない方はラジオを楽しまれたりする		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全てを理解しているとは言えないが、服用される薬は間違えないよう十分な注意を払う		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	犬と散歩されたり遊んだり。犬の排泄物の処理をして下さったり、他の方の物の縫い物をして下さったり、その方の得意分野を頑張らせて頂いている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	木・日のデイ事業所の休みで車が空く為、買物や遠出のドライブ支援を行っている	天気の良い日は近隣の公園やスーパーなど積極的に出かけている。入居者が希望される場所へドライブに行く機会も多く、本人が希望を伝える事が難しい場合も表情を見て本人の意向を汲み取り、外出支援を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	何人の方はおこずかい程度のお金を所持されており、買物や散髪代等支払われる時はご自分で出していただき見守るようしている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	外出の希望時、自ら電話され迎えに来られる。地域の小学生へのお礼の手紙を書いたりされる		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じていただけるようその季節にちなんだ物を一緒に創作したり、展示したり、近所で野花を摘んできて活けたりする	共用空間には入居者が摘んできた野花が活けてあったり近所から差入れて頂いた品が置かれたりと、入居者と一緒に考えながら家庭的な雰囲気作りが行われている。浴室やトイレもプライバシーを考慮した適度な広さが確保されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆さん自然に自分の坐る場所を決められ、それぞれが思い思いの時間を過ごされている		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お位牌や人形、家族からのプレゼント等居室での空間を上手に利用し置いたり貼ったりされている	居室内は入居者の使い慣れた家具調度品が置かれ家庭的で明るい雰囲気作りがなされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方に合ったお手伝いをお願いしている。自室では荷物をちらかされていても、危険がなければ見守りを行っている		